

Internet Week 2013 DNS DAY総括

IP Meeting 2013

2013年11月29日

株式会社日本レジストリサービス

坂口 智哉

DNS DAY プログラム

■ 日時・場所

- 11月28日(木) 13:00~18:30
- アキバホール

■ プログラム構成

- DNS Update
- Name Collisionに関する話題
- オープンリゾルバーに関する話題
- DNSの評価と計測の話

DNS Update

■ 2013年のDNS/ドメイン名に関する動向を報告

- ルート、JP DNS、逆引きDNS、キャッシュDNS、ドメイン名の各状況報告

- 新gTLDの登場とそれに関連する動きが活発
- DNSリフレクター攻撃とオープンリゾルバーへの取り組み

■ DNSSEC Updateを実施 (NEW!!)

- 今年1年のDNSSECに関する動向を総括

- 失敗事例も増えてきたが失敗時のリスク軽減も検討されはじめた
- DNSSEC普及のキーとしてDANEが注目されつつある
(※*The DNS-Based Authentication of Named Entities*)

Name Collisionに関する話題

- Name Collision(名前衝突)について問題の共有と現時点における検討状況について紹介
 - Internet Week開催直前で追加したセッション

Name Collisionとは

新gTLDの導入により、内部ネットワークにおいてすでに使われている名前が新gTLDと衝突してしまうことに起因するさまざまな影響

オープンリゾルバーに関する話題

■ さまざまな立場からオープンリゾルバーの問題に対する取り組み・経験談を紹介

- ベンダー

- 工場出荷状態での設定をどうするかは考えどころ
- 新製品を開発する際はDNS機能が必要なのかよく考えるとよい

- ISP

- オープンリゾルバーを閉じるのは一朝一夕にはできない
- 涙ぐましい地道な活動を続けていく必要がある

- ホスティング

- 単純にオープンリゾルバーをやめようではユーザーに響かない
- まずはよく調べるところから始める

- これまでオープンリゾルバーへの対策に関する具体的な体験談が語られることはほとんど無かった
- 重要な経験を各講演者に共有いただき、会場参加者にも多くのものを持ち帰っていただける貴重な講演となった

DNSの計測と評価の話

■ さまざまな立場からDNSに対する計測と評価の具体的手法について紹介

- ベンダー

→ dnsperfとresperfの適切な使い方について詳しく説明

- Web/Mail運用者

→ メール送信認証技術 SPF、DKIM のDNSサーバーへの影響について
検証結果を紹介

- レジストリ

→ RRL(Response Rate Limiting)をJP DNSへ導入するにあたっての
評価ステップと評価内容について紹介

- ツールは使い方を誤ると正しい計測・評価結果を得られなくなる
→ 計測ツールや評価対象の正しい挙動の理解が重要
- 各組織・立場で何を評価したいか、何に着目するかはそれぞれ異なる
→ 評価に対する考え方や進め方の共有はどの立場においても重要